

令和7年度入間市防災訓練のアンケート結果

防災訓練終了後、避難所訓練に参加した市民を対象に訓練に関するアンケートを実施しました。
アンケートの分析を行い、次年度の防災訓練に向けて改善を図ります。

1 実施日 令和7年 11 月9日(日)

2 避難所での訓練参加人数 4,365 人

3 2のうち、アンケート回答者数 983 人(内訳 アンケート用紙 662 人、オンライン 321 人)

※割合については端数処理を行っているため 100%にならないことがあります。

4 アンケート回答率 22.5%(在宅避難・参加地区不明 63 人)

地区	避難所訓練参加者数	アンケート回答者数割合
豊岡地区	1,451 人	268 人(18.5%)
東金子地区	569 人	59 人(10.4%)
金子地区	515 人	96 人(18.6%)
宮寺二本木地区	488 人	129 人(26.4%)
藤沢地区	500 人	168 人(33.6%)
西武地区	842 人	200 人(23.8%)

上記のアンケートの他、以下のオンラインアンケートも実施しています。

- ① 訓練に参加しなかった方へのオンラインアンケート 187 件回答
- ② ボランティア参加の中学生へのアンケート 5 件回答(全体 30 人中)

5 アンケート結果

質問1 訓練時間はどうですか

回答1	令和6年度	令和 7 年度
① 長い	173(17.4%)	41(4.3%)
② やや長い(新設)		146(15.2%)
③ ちょうどよい	661(66.6%)	686(71.3%)
④ やや短い(新設)		65(6.8%)
⑤ 短い	62(6.3%)	24(2.5%)

質問2 今回の避難所開設・運営訓練はどうでしたか

回答2	令和6年度	令和 7 年度
① 理解できなかった(新設)		71(7.3%)
② あまり理解できなかった(新設)		88(9.1%)
③ どちらとも言えない(新設)		247(25.5%)
④ やや理解できた(新設)		290(30%)
⑤ 理解できた	410(41.0%)	272(28.1%)

質問3 実災害時に自主防災会のみで避難所開設・運営をできると思いますか

回答3	令和6年度	令和7年度
① できる	213(21.6%)	236(24.5%)
② できない	447(45.2%)	357(37.1%)
③ わからない	328(33.2%)	369(38.4%)

質問4 防災訓練で知りたい内容は何ですか(複数回答可)

回答4	令和6年度	令和7年度
① 避難所生活(ルール)	393(30.9%)	475(18.1%)
② 避難先	78(6.1%)	214(8.2%)
③ トイレ関係	231(18.1%)	400(15.3%)
④ ペット関係	98(7.7%)	197(7.5%)
⑤ 避難の持出品	79(6.2%)	235(9.0%)
⑥ 避難のタイミング	173(13.6%)	469(17.9%)
⑦ 災害用伝言ダイヤル	48(3.8%)	154(5.9%)
⑧ ハザードマップ	45(3.5%)	137(5.2%)
⑨ タイムラインの作成	25(2.0%)	96(3.7%)
⑩ 避難行動要支援者	71(5.6%)	244(9.3%)

以降の設問へは訓練に参加されなかった方のオンライン回答(187件)結果も含みます。

質問5 災害時の避難先は知っていましたか

回答5	令和6年度	令和7年度
① 知っていた	988(87.7%)	825(79.3%)
② 知らなかった	135(12.0%)	159(15.3%)
③ 訓練で知った	3(0.3%)	56(5.4%)

質問6 食料・水の備えはしていますか

回答6	令和6年度	令和7年度
① 3日程度	696(60.2%)	627(60.7%)
② 7日以上	172(14.9%)	149(14.4%)
③ していない	289(25.0%)	257(24.9%)

質問7 携帯トイレ(凝固・衛生袋セット付など)の備えはしていますか

回答7	令和6年度	令和7年度
① 3日程度	346(29.8%)	320(31.1%)
② 7日以上	116(10.0%)	145(14.1%)
③ していない	699(60.2%)	564(54.8%)

質問8 災害時に使用できる非常持出品(リュック)の用意はしていますか

回答8	令和6年度	令和7年度
① している	590(56.5%)	583(56.8%)
② していない	454(43.5%)	445(43.3%)

質問9 入間市防災訓練に点数をつけてください(10 点満点)

回答9 A 市職員の対応(平均点) 7.0 点 (令和6年度 6.4 点)

B 実災害での活用度(平均点) 6.1 点 (令和6年度 5.6 点)

質問10 今回の入間市防災訓練で思ったこと、感じたこと、を記入してください

回答10 主な記載内容及び分析については、8 危機管理課による所見をご覧ください。

7 中学生アンケート結果(5件)

訓練時間はどうですか

長い	
やや長い	
ちょうどよい	5
やや短い	
短い	

防災に興味はありますか

ある(興味を持った)	5
ない	

学校にいる時に市民が避難してきたら
避難所開設ができますか

できる	4
できない	
わからない	1

今回の避難所開設・運営訓練の理解度

理解できなかった	
やや理解できなかった	
どちらでもない	4
やや理解できた	1
理解できた	

防災の勉強になりましたか

なった	5
ならなかった	

訓練を体験して、今後さらに必要な
学習は何だと思いますか

避難所生活(ルール)	2
避難の持出品	1
避難のタイミング	1
ハザードマップ	1

入間市防災訓練に点数をつけてください(0 点～10 点満点)

市職員の対応(評価)

10 点	3
8 点	2

実災害での活用度(内容)

10 点	2
9 点	1
8 点	1
7 点	1

8 危機管理課による所見

質問1について <次年度以降の訓練時間を検討>

今回の訓練時間は昨年と同様 8 時 15 分から 10 時 30 分(2 時間 15 分)として実施したが、避難所の準備開始時間を 8 時 30 分からとしている。

最多となった回答は「②ちょうどよい」の 71.3%と、7割を超える参加者にこの回答をいただいた。

「①長い」「⑤短い」についても昨年度に比べて下がっており、各避難所において参加者が適度と感じられる時間に近づいていることが伺える。

今後も各自主防災会との意見のすり合わせを行い、各避難所の実情に応じた訓練としていきたい。

質問2について <次年度以降の避難所訓練内容の継続、改良を確認>。

「④やや理解できた」、「⑤理解できた」を合わせ 58.1%の参加者から一定の成果が見られる一方、「③どちらとも言えない」が25.5%と全体の1/4以上いる結果となった。訓練の構成を含めた説明内容、対応方法などに改善の余地が見られる。

訓練内容については、固定化できつつあるため、何度も繰り返すことで理解度を高めていく。

質問3について <自主防災会への浸透状況>

最多となった回答の「②できない」が37.1%で、昨年度に比べて減少し、「①できる」も昨年より数字を上げている。災害時の避難所運営は市主体で行うことと認識している参加者も多いが、市職員も被災し開設を行えない可能性があること、その場合に備えた訓練として自主防災会の自主性が欠かせないこと、説明会などを通じて浸透させていきたい。

質問4について <防災訓練や防災啓発で市民が必要とする分野>

最多となった回答は、「①避難所生活(ルール)」がであった。次点は「⑥避難のタイミング」、次いで「③トイレ関係」と、去年、一昨年と知りたい内容の上位3項目は同じであった。

避難所生活では、避難所運営マニュアルに則り避難者の中で役割や班決めを行い避難生活を送っていただくことになるため、こうした内容を訓練でどのように周知していくかが今後の課題と捉えている。避難のタイミングやトイレ関係についても引き続き啓発を実施していく。

質問5について <市指定避難所の認知度>

最多となった回答は、「①知っていた」の79.3%だが、昨年度に比べて8ポイント以上下がった。あわせて、知らなかったの回答も増えている。訓練を通じて避難場所を知る方も多い中で、実災害ではその避難所が満員であったり、建物として利用できない可能性もあるため、複数の避難場所を把握していただく必要があり、引き続きの啓発活動をおこなっていく。

質問6について <自分の身は自分で守る「自助」の1つ、食用・水の備えについて>

最多となった回答は、「①3日程度」で全体の60.7%を占めている。「②7日以上」とあわせると、避難所訓練に参加した市民の75%以上が災害直後の対応ができている一方、約4分の1の市民が水の用意が出来ていない実態が伺えた。一人ひとりの備えは、最大の防災強化となるため、引き続き周知活動を行う。

質問7について <自分の身は自分で守る「自助」の1つ、トイレの備えについて>

最多となった回答は「③していない」が54.9%と、昨年に引き続き過半数以上を占めた。入間市ではトイレカーの導入や簡易仮設トイレの備蓄をすすめているが、個人宅でのトイレ対策も欠かせないことから、防災啓発などでも引き続きトイレの備えの重要性を説明していく。

質問8について <災害時の非常時持出品の用意について>

「①している」「②していない」ともに昨年と同程度の数値となっている。防災訓練に参加する避難者へも非常時持出品の携行を呼び掛けており、身近でできる最初の対策として水やトイレとあわせて、一人ひとりのリュックの準備を啓発していく。

質問9について <職員対応、実災害での活用度>

職員の対応については昨年よりも増加し7.0点となった、アンケート結果を見ると避難所によって採点にバラつきもあるため、参加者の理解度にも左右されてしまう前提はあるが、どの職員でも同じ説明が行えるよう職員研修を行っていきたい。

活用度については、こちらも昨年度より数値は上がっているものの、高い点数とは言えず、参加者が市へ求めるレベルの高さがうかがえる。実災害においては職員の参集を待たずに、避難所を開設しなくてはならない状況が想定できることから、訓練の理解度の向上とあわせて活用度の向上に努めていく。

質問10について 、入間市防災訓練で思ったこと、感じたこと、について>。

記載があった件数は紙アンケート282件、オンラインアンケート226件の計508件だった。これを、理解系、要望系、指摘系、意見・感想系の4つに分類する。

- ① 理解系とは、訓練実施による認識、自助としての準備、自主防災会と行政の協力体制など95件(18.8%)の記載があった。
- ② 要望系とは、訓練に関する事項、備蓄量、中学生の活用など67件(13.2%)の記載があった。
- ③ 指摘系とは、職員の段取り、説明方法など165件(32.5%)の記載があった。
- ④ 意見・感想系とは、災害時の混乱、自主的な行動の疑問など181件(35.7%)の記載があった。

①【理解系の主な回答】

- ・昨年に比べ、きめ細かく説明してくださり。ありがとうございました受付場所災害時のテントの設営など実際にしてくださり、より理解できました。
- ・災害時のトイレ凝固剤等学ばせて頂きました。家庭のトイレも避難時にも活用出来る事を知り勉強になりました。
- ・昨年参加した時にパーティションの様な間仕切りを組み立てましたが、完成度の低いものでした。今年はテントの様な簡単でプライバシーがある程度守れそうな品物だったので良かった。
- ・避難所はあくまで自力で災害対応できない方々が集まる場所と捉えないと倉庫に備蓄してある設備では対応しきれないはずで、それを行政に頼るつもりは無いが参加者にはそう捉えていない方が大勢いる印象を受けた。市もできる限りの事はしているが、おんぶに抱っこになってしまうと各避難所は大変になると感じた。

②【要望系の主な回答】

- ・避難後の行動等をもっとしっかり学びたいと思います。もっと実践的な訓練をお願いします。
- ・冬の避難は寒く、夏は多分暑いので、冬はカイロ、夏はうちわが最低でもあると良いと思った。テントはありがたいが、毛布などもあるといいなと思った。
- ・市で用意されている備品や備蓄の状況が多少知ることができ良かったと思います。但し、避難訓練の参加者数を踏まえると備蓄用品や備蓄食は本当に足りるのか不安が残る。家に備蓄している前提

の準備数なのかと思うので、改めて家でも備蓄用品等を検討する必要があると思いました。そのため、市でももう少し災害時の備蓄用品等していくよう市民に呼びかけが必要と思いました。実際、災害があった場合、市の職員がいない状況になると思うため、地域住民の交流も大切だと思いました。

- ・マイクなしでの説明でよく聞き取れない箇所がありました。時間短いので椅子の用意がなかったのだとは思いますがお年寄りによっては座れる場所を探していました。

【指摘系の主な回答】

- ・記載用紙(アンケート etc)が複数あり、それら各々の目的をはっきり明示して欲しい。何のための記載がよくわからなかった。
- ・高齢の方は受付・資料・アンケートが見えない書けない等あるので配慮が必要かと思います。
- ・受付を対応する人員を増やしてほしい、受付で時間がかかっていたので、のぼりを使うなど地区表示をしてほしい。
- ・介護必要とする人、体調不良の人、子供・高齢者への対応、接待について、説明などされていなかったのは疑問点としてある。

③【意見・感想系の主な回答】

- ・今までの訓練より実際に体験でき有意義であった役所の皆様おつかれ様でした
- ・「マイ・タイムライン」が分かりませんでした。分からないことを職員さんが教えてくださいました。実際に避難する時はもっとバタバタするのだろうなと思いました。
- ・地区センターに頼るのは無理があると実感していますので各家庭で準備しておく必要があると痛感しました。
- ・この訓練で感じることは、絶対に避難所に行かなくてもいいように、自身での対応力を付けておかないといけない、これを強く感じた。

9 まとめ

避難所の開設を主体とした訓練に移行し4年目となり「昨年よりも良くなった」という感想が多く見受けられたが、避難所によっても職員の対応に差があるようなアンケート結果も多く、すべての職員がすべての避難所で同じレベルの訓練を実施できることを目指し来年度以降の職員研修の実施、訓練にあたりたい。また、参加者の中には市がすべて行ってくれると考えている方もいるため、最低限の自助として避難所の開設・運営を目指す訓練をしていること、市と避難者で協力して避難所の準備をすることの共有を図っていきたい。